

154

Gymnoascaceae による斑狀落屑性白癬

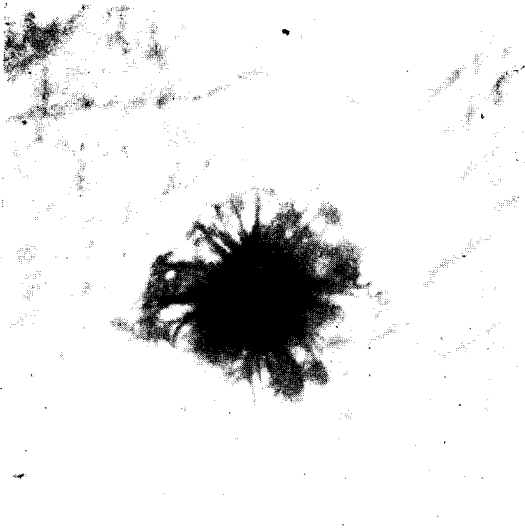
樋口 謙太郎

(九州帝國大學醫學部皮膚科教室 主任 皆見教授)

太田教授の著書によると *Gymnoascaceae* に屬するもので從來人間の病原菌はなく、ただ Matruchot & Dassonville が犬の白癬より 1 種を培養し、*Eidamella* なる菌名を制定し、Chalmers & Marshall がエジプトにて土人の白癬より恐らく子囊殻と思はれるものを形成する 1 菌種を得、これを *Trichophyton Currii* として記載し、後本菌種は Ota et Langeron により *Atelcothylax* と命名せられた。即ち、確實に本科に屬するもので人間に病原性を有するものは未だ記載がないとみてよい。本科の特徴は閉鎖性の子囊殻 (Perithecium) を作ることで人體皮膚病原體の主要を占める黃、白癬菌は本科より退化した形だと考へられてゐる。即ち黃、白癬菌にみる結節狀、卷鬚狀、螺旋狀、櫛狀器官等の諸器官は子囊殻の前階程またはその裝飾物と見做されてゐる。従つて黃、白癬菌の研究は必然的に本科の形態學的研究にまで進まなければならない。しかし本菌種を得ることは困難で今日まで充分の研究が遂げられてゐない。

余は昨年末朝鮮に於て 1 獸醫の頸、胸、腹部に發生した一見癩風と Gilbert 絨糠疹の中間型を呈する落屑性斑狀發疹を診察する機會を得、その鱗屑の鏡檢にて菌要素を豊富に證明し、かつ培養にも成功した。

本培養菌は菌學的検査の結果、多數の卷鬚、絲毬、結節狀器官とともに揭示する如き著明なる螺旋狀菌絲にて裝飾された子囊殻を形成することを確かめた。即ち *Gymnoascaceae* 中 *Mycotrichum* Kuntze に一致する。子囊殻中には未だ (培養 3 ヶ月) 子囊を形成しない。人體皮膚並びに諸種動物に塗抹試験を行つた結果では一過性の落屑形成とその中に於ける菌發育像を認め、特に高度な毒性は示さなかつたが、ある特別の條件の下に於ては患者にみた如き症狀を呈し得ると信ぜられる。

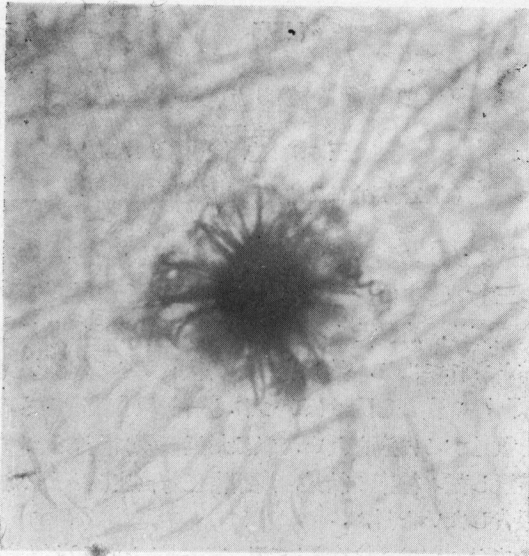


完成された Perithecium (擴大圖)

御指導，御校閲を賜つた恩師皆見教授，菌學に就て御教示を仰いだ東大皮膚科
太田教授並びに九大農學部吉井教授に深謝する。

[さらに研索を進め近く皮性誌上に於て詳細發表の豫定である]

(受附：昭和17年5月15日)



完成された Perithecium (擴大圖)

御指導，御校閱を賜つた恩師皆見教授，菌學に就て御教示を仰いだ東大皮膚科太田教授並びに九大農學部吉井教授に深謝する。

[さらに研索を進め近く皮性誌上に於て詳細發表の豫定である]

(受附：昭和17年5月15日)